

2026年6月より チタン前装冠ブリッジ&チタンブリッジ製作開始

新設点数:2,800点(1装置) +前装加算:600点(1歯)



なぜ「チタン」への移行が急務なのか？

経営の健全化

不安定な金パラ (パラジウム) 価格に左右されない経営を実現。材料コストの予測が容易になり、逆ザヤを回避できます。

臨床的な優位性

比重は金パラの約1/4。支台歯への負担を劇的に減らし、ブリッジの脱離や支台歯の破折リスクを低減します。

生体親和性

金属イオンの溶出がほぼなく、アレルギーや歯肉の変色(メタルタトゥー)の不安を解消。患者満足度が向上します。

主要補綴素材の徹底比較(2026年基準)

項目	金銀パラジウム合金	純チタン2種
比重(軽さ)	約10.5 (重い)	約4.5 (非常に軽い)
価格安定性	歴史的な高騰 不安定	安価・安定供給
安全性	アレルギーリスク有	ほぼなし(最高レベル)
製作手法	主に鋳造	CAD/CAM (デジタル精密)

患者満足度を高めるカウンセリング術

- 「自費同等の価値を保険で」: インプラントと同じ高品質な素材を保険で提供できる点を強調。
- 「健康寿命への寄与」: 非常に軽いため、ブリッジを支える大切な歯の寿命を延ばせるメリットを訴求。
- 「アレルギーフリー」: 金属アレルギーを気にされる方への安心・安全な選択肢として。

導入へのステップ

- ✓ 技工所との確認: 純チタン鋳造、またはCAD/CAMミリングの対応体制を確認。
- ✓ 院内オペレーション: スタッフ勉強会を実施し、6月からの新点数・算定要件を共有。